

人文社会科学系 准教授/イノベーション・プロフェッサー
村山 敏夫 MURAYAMA Toshio

専門分野 応用健康科学、測定評価、発育発達、加齢科学、健康生理学、地域デザイン

人文社会科学

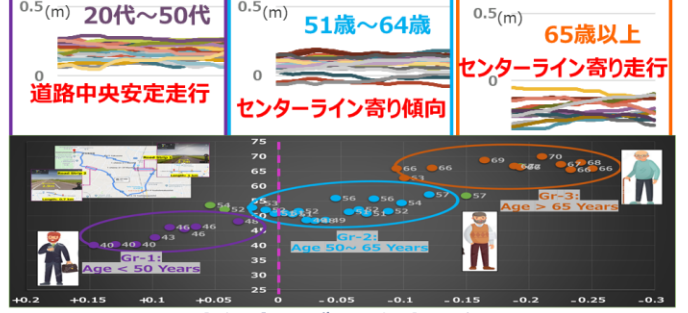
安心安全なモビリティ環境と地域デザイン
～ 交通安全未来創造ラボ ～

キーワード モビリティ、交通安全、運転行動

研究の目的、概要、期待される効果

これまでに自動車メーカーと共に高齢者の動機と運転行動の関係を探ってきました。そこで得た結果は交通事故抑止のプロジェクトとして社会実装に向けて取り組んでいます。さらに交通死亡事故ゼロを目指して新潟県警と連携しながら安全運転のための地域活動を展開しています。これらひとつひとつを交通安全未来創造ラボで集約しながら全国のステークホルダーと共に安全な未来を創ることを展開しています。

特徴①：直線路における単独事故が多い
仮説：高齢運転者は“センターラインに寄る”運転傾向がある

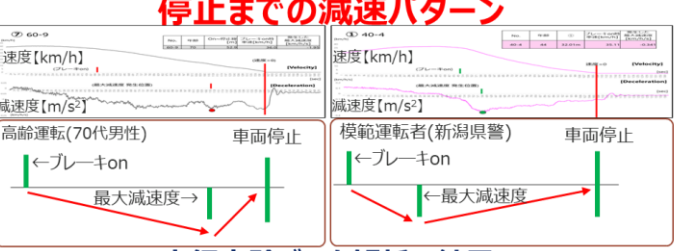
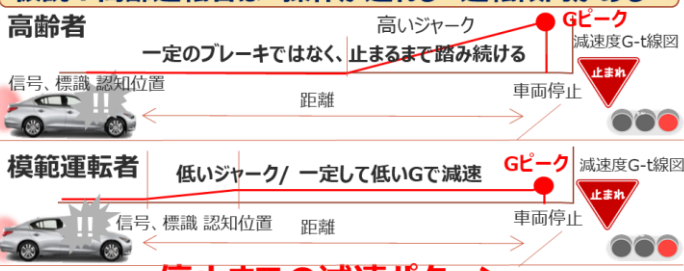


走行実験データ解析の結果
高齢者はセンターラインに寄る運転傾向であることを証明

アピールポイント

日産自動車、新潟県警察、新潟文化自動車学校との連携で安全なモビリティ環境を目指します。
・新潟県警察本部長感謝状授与(2018)
・出雲崎町長感謝状授与(2020)

特徴②：高齢運転者事故の人的要因は操作不適が多い
仮説：高齢運転者は“操作が遅れる”運転傾向がある



走行実験データ解析の結果
停止までの減速パターンに違いがある



つながりたい分野（産業界、自治体等）

- ・安全な交通環境やモビリティに関心ある方々
- ・交通事故抑止に向けた運転行動に関心ある企業
- ・クルマを取り巻く未来をの社会者をえる企業
- ・交通事故のない安全な地域づくりを考える自治体